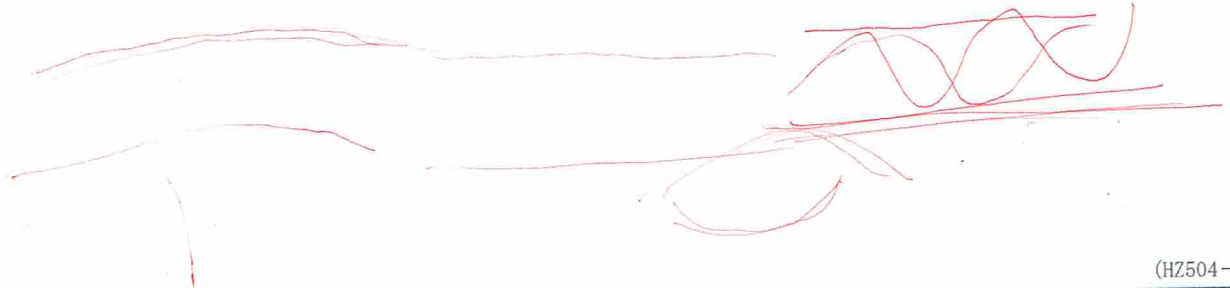


B-5 次の記述は、ラジオダクトについて述べたものである。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

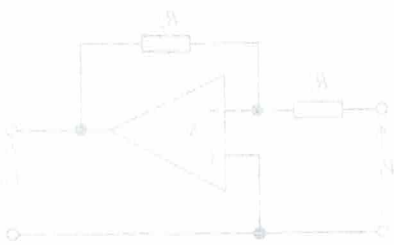
電波についての標準大気の屈折率は、高さ(地表高)とともに□アする。また、大気の屈折率に□イ及び地表高を関連づけて表した修正屈折率(指数)Mは、標準大気中で高さとともに□ウする。しかし、上層の大気の状態が□エで、下層の大気はその逆の状態となるとき、Mの高さ方向の変化が標準大気中と逆になる。このような状態の大気の層を逆転層という。この層はラジオダクトを形成し、□オ以上の電波を見通し外の遠距離まで伝搬させることがある。

- 1 電離層の高さ
- 2 低温高湿
- 3 電離層
- 4 超短波
- 5 増大
- 6 地球半径
- 7 高温低湿
- 8 風速
- 9 中波
- 10 減少

10 6 5 7 4



(HZ504-8)



① 入力:  $R \cdot I_1$   
 ② 出力:  $R \cdot I_2$   
 ③ 損失:  $R \cdot I_1^2 + R \cdot I_2^2$

この回路の電力平衡式は、①、②、③の式を用いて、④の式で表すことができる。④の式は、⑤の式で表すことができる。

- (1) ①
- (2) ②
- (3) ③
- (4) ④
- (5) ⑤

次の記述は、無線電波の伝搬に関するものである。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

- 1 100 [kHz]
- 2 200 [kHz]
- 3 300 [kHz]
- 4 400 [kHz]
- 5 500 [kHz]